



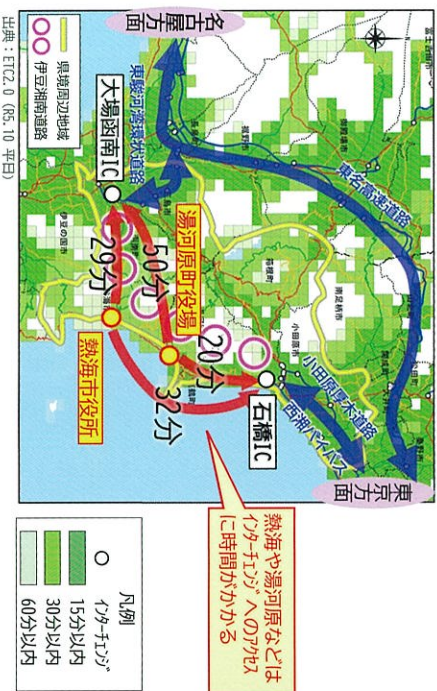
神奈川と静岡の県境周辺地域における道路交通の課題

課題①

高速道路のインターチェンジが遠く、
遠方への移動に時間がかかる

熱海や湯河原などは、高速道路の「インターチェンジ」が遠く、高速道路に乗るまでに時間がかかるため、東京方面や名古屋方面など遠方への移動に時間がかかります。

■高速道路のインターチェンジへのアクセス時間



課題④

観光シーズンに道路が渋滞し、
移動時間が読めない

熱海、湯河原、箱根等には、関東地方から多くの観光客が訪れますが、観光シーズンには道路が渋滞して時間が読めず、周辺観光がしにくい状況です。また、伊豆半島へのアクセス等にも影響しています。



課題②

国道1号や国道135号は、
カーブや信号が多くて走りにくい

県境周辺地域の幹線道路である国道1号や135号は、急カーブや急勾配が多く、走行に注意が必要です。また、国道135号は、市街地で信号が多く、通行に時間がかかります。

■位置図

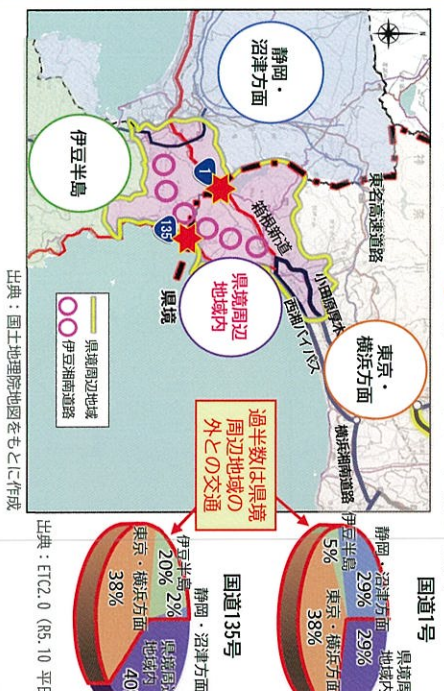


課題⑤

観光や物流と地域の交通が混在・集中し、
渋滞や事故が多く発生している

国道1号や135号は、東京や横浜など遠方からの観光や物流の交通と、県境周辺地域の生活交通が混在・集中することで、渋滞や事故が多く発生しています。

■県境断面（図中の★印）を通る交通の発着地の割合



課題③

日常生活での移動に時間がかかる

小田原～沼津間は、周辺の地域と比較して高速で走れる道路が少なく、通勤や買物、通院など、日常生活での移動に時間がかかります。

■平均移動速度



課題⑥

自然災害により、県境をまたぐ
交通が寸断される恐れがある

東名や新東名、国道1号は、大雪や火山噴火等で通行止めとなり、東京～名古屋間の物流が寸断される恐れがあります。また、国道135号は高波等で通行止めとなり、県境周辺地域内の移動や災害時の救援活動に支障が出る恐れがあります。

■東名、新東名、国道1号は、大雪や火山噴火で寸断の恐れ

■伊豆半島の救援ルート

